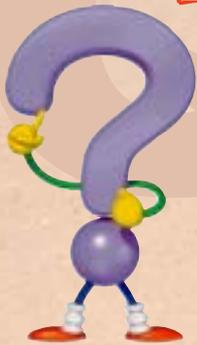
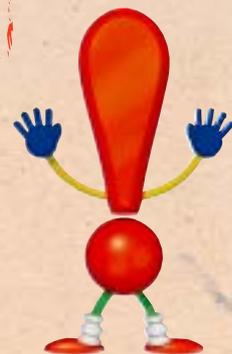


# 経営相談コーナー



当センターでは、中小企業者等が抱える経営、金融等様々な問題の相談に応ずるため、総務部企画課内に総合相談窓口を設けております。

また、起業にあたっての心構え、事業計画の立て方などを解説した、「創業者ハンドブック」を差し上げておりますので、どうぞご利用ください。



## Q

起業するにあたっての心構えなどを教えてください。

## A

心構えとして必要なことは、以下のとおりです。

- ① 家族や身近な人に対して起業に対する計画を相談し、事業の構想に対する理解を得て、最も身近な応援者になってもらうこと。
- ② 事業が逆境に見舞われたときでも、それを乗り越えられる強い精神力をもつこと。
- ③ ビジネスが軌道に乗るまでの生活資金を蓄えておくこと。
- ④ いざという時の保険になるような担保物権を取得しておくこと。
- ⑤ 年金、健康保険などの生活に対する公的な保護を断ち切らないこと。
- ⑥ 人生設計表を作成し、事業に沿った今後の生活計画を具体的に立てること。
- ⑦ 事業を続けていくうえでの後継者の確保・育成も計画に組み入れること。
- ⑧ 自分の知識や経験に頼り過ぎないで、人的ネットワークを広げ、できるだけ多くの協力者を取り込むこと。

さらに、将来への大きな夢を持ち続ける強い意志を持ち、計画的に実務を

こなす実行力を身に付けるなど、多くの観点からの見極めが必要です。

頭の中だけで考えずに、紙に書き出して見るのが大切です。いわて産業振興センターの「創業者ハンドブック」に沿って事業計画を練ってみてください。事業に踏み出すタイミングも重要ですが、準備不足で事業を始めると、計画から逸れたときに、立て直しが遅れてしまう危険が高くなります。長期的な視野で事業を熟慮することが大切です。

まず、何をビジネスの基本とし、どのように利益を得るのか、という「ビジネスの基本」に沿って考えてください。その計画を独立前に計画・立案し、具体策を十分検討して、その可能性を探ることが必要です。ビジネスはシステム作りです。既存のフランチャイズの成功率が高いのは、そのシステムが確立されているからです。

人に説明できるような具体的計画ができて、初めて「起業の準備ができた」ということになります。

また、以下の項目に対する心掛けも、大切です。

- ① 自分が踏み込むビジネス分野の「知

識」をどれだけ身に付けているかに成功のカギがあります。知識の蓄積があつてこそ、ビジネスを展開するための「知恵」が生まれます。関連する資格取得にも、挑戦してみましよう。

- ② ビジネスに関する情報の収集を、常に心がけてください。その業界の最先端の情報を、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・チラシ・インターネット・人の噂話などから情報収集することも大切です。自ら出向いて、流行やニーズをいち早くつかむことにも心掛けましよう。

- ③ 経営のために必要な経営手法、経理、販売、雇用、税金、許認可等の法律、消費者問題などに関して、すべてに目を通しておく必要があります。細かいことを、専門家にすべて任せず、自ら経営に関連する流れを把握しておくことこそ、起業家、経営者に要求される最低限の事柄です。

- ④ 常に手帳を携帯して、ふと思いついたことをメモに残す癖をつけましよう。毎日の小さな心がけが、次のチャンスを生み出し、ビジネス展開に繋がることもあります。常に、次のチャンスを求めて、ビジネスに取り組む姿勢が大切です。

お問い合わせ先

企画課

TEL 019-621-5386 FAX 019-621-5481

URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>

E-mail [joho@joho-iwate.or.jp](mailto:joho@joho-iwate.or.jp)